

モンゴル

経済の概況

2006年のモンゴル経済は、主要輸出品価格の上昇と、順調な天候に恵まれ拡大が継続した。国家統計局公表の暫定値で2006年のGDP成長率は8.4%に達した。このうち、サービス部門の寄与度は4.4ポイントで半分を超え、農業と製造業がそれぞれ2.0ポイントとなっている

ホテル及びレストラン部門は、大モンゴル建国800年祭による観光客の増加によって、高い収益を達成した。産業生産額は製造業の高い成長によって拡大した。貿易収支は1997年以来、初めての黒字を記録した。国家財政収支も二年連続の黒字となった。これらの傾向は2007年の1～2月も継続している。

インフレーション及び為替レート

12月の消費者物価上昇率は前年同月比6.0%で、これは前年同月からは3.5ポイント低下している。物価指数に含まれる多くの品目で価格は安定しており、13.6%の品目で上昇、5.9%の品目で低下という状況である。

12月の為替レートは1ドル=1,165トゥグルグで、前年同月の同1,221トゥグルグから増価している。

国家財政

2006年の国家財政収支は1,245億トゥグルグの黒字となった。これはGDPの3.9%に相当する数字である。租税収入は全ての税目について上昇した。また2006年半ばに導入された「偶然による利益に対する税法」に基づき、1,775億トゥグルグが徴収された。租税収入は歳入の83.2%を占め、税外収入が16.3%、資本収入が0.1%となっている。海外からの援助は歳入の0.3%で、前年よりも0.2ポイント低くなっている。財政収支の黒字は2007年も継続しており、1月は743億トゥグルグ、2月は28億トゥグルグの黒字となった。

こうした好調な財政の状況を背景に、モンゴル政府は2006年に、市場経済への移行以降初めて「モンゴル開発基金」の創設を決定した。モンゴル開発基金法は2007年の2月に国会を通過した。同法は基金の目的を、外的要因による予算不足の調整、国の経済能力開発及び中小企業活動の支援を目的とした投資、児童及び家庭の支援、と定

義している。2006年に1,775億トゥグルグが同基金に積み立てられた。

産業部門

2006年の産業生産額は、主に製造業の生産額の増加により前年比9.1%増となった。製造業の生産額は前年比23.2%増、エネルギー部門は同2.5%増、鉱業は同1.7%増となっている。鉱工業生産物の販売額は2兆930億トゥグルグで、その64.3%が輸出向けであった。2007年に入っても、産業生産額の増加傾向は継続している。

国際貿易

2006年の貿易総額は30億ドルで、前年を34.2%上回った。このうち輸出は前年同期比43.6%増の15.3億ドル、輸入は前年同期比25.7%増の14.9億ドルで、3,960万ドルの貿易黒字を記録した。

2006年のモンゴルの貿易相手国は109カ国であったが、このうち二国間の収支が黒字であったのは15カ国にとどまった。輸出相手国は65カ国であるのに対し、輸入相手国は95カ国となっている。2006年のモンゴルの輸出相手国のうち、中国が68.1%を占め第一位であり、カナダ11.2%、米国7.8%、イタリア2.5%がこれに次いでいる。これらの上位4カ国で輸出全体の89.6%を占めている。

一方、2006年のモンゴルの輸入相手国は引き続きロシア及び中国で、それぞれのシェアは36.8%、27.8%であった。この他の主な輸入相手国は日本6.8%、韓国5.6%、カザフスタン3.5%、米国3.0%で、これらの上位6カ国で輸入全体の83.0%を占めている。

モンゴル大統領の訪日

ナムバリーン・エンフバヤル大統領が2月26日から3月2日の日程で、日本を公式訪問した。今回の滞在中に両国政府は、「日本・モンゴル共同声明」及び「今後10年間の日本・モンゴル基本行動計画」に調印した。これら文書のうちで、二国間の経済協力に関わる内容としては、新国際空港の建設に関わる円借款、日本企業による鉱物資源開発、モンゴルの開発に関わる総合戦略の策定への協力、モンゴル製品の輸入促進、環境協力などが触れられている¹。

(ERINA調査研究部研究主任 エンクバヤル・シャグダル)

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年1月	2月
GDP成長率(対前年比:%)	1.1	1.0	4.0	5.5	10.7	6.2	8.4	-	-
産業生産額(対前年同期比:%)	2.4	7.4	3.8	6.0	10.5	4.2	9.1	9.3	8.8
消費者物価上昇率(対前年同期末比:%)	8.1	4.7	4.7	4.7	11.0	9.5	6.0	4.2	5.4
登録失業者(千人)	38.6	40.3	30.9	33.3	35.6	32.9	32.9	31.6	31.8
対ドル為替レート(トゥグルグ、期末)	1,097	1,102	1,125	1,168	1,209	1,221	1,165	1,166	1,164
貿易収支(百万USドル)	78.7	116.2	166.8	185.1	151.4	95.0	39.6	53.0	2.8
輸出(百万USドル)	536	522	524	616	870	1,054	1,529	168	107
輸入(百万USドル)	615	638	691	801	1,021	1,149	1,489	115	104
国家財政収支(十億トゥグルグ)	78.6	50.4	71.6	61.9	16.4	60.4	124.5	74.3	8.3
国内貨物輸送(百万トンキロ)	4,418	5,427	6,604	7,504	9,169	10,822	9,693	-	-
国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ)	4,283	5,288	6,461	7,253	8,878	9,948	9,226	822	688
成畜死亡数(千頭)	3,491	4,759	2,918	1,324	292	677	476	8	12

(注)登録失業者数は期末値。

(出所)モンゴル国家統計局「モンゴル統計年鑑」、「モンゴル統計月報」各号 ほか

¹ 共同声明及び基本行動計画の全文は、下記の外務省HPで公開している。
http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mongolia/visit/nam_0702/index.html